

男子グレコ文田



日本勢40年ぶり

レスリング 女子尾崎は「銅」

【パリ共同】パリ五輪第12日の6日、レスリング男子グレコローマンスタイル60^キ級の決勝で文田健一郎(28)＝ミキハウス＝が曹利国(中国)を破り、金メダルを獲得した。男子グレコの日本勢の優勝は1984年ロサンゼルス五輪52^キ級の宮原厚次以来40年ぶり。女子68^キ級で初出場の尾崎野乃香(21)＝慶大＝は3位決定戦に勝ち、銅メダルを獲得した。

金メダルの文田は山梨県 意とし、2017、19年世 人者。優勝候補として臨ん出身。豪快な反り投げを得 界選手権制覇の軽量級第一 だ21年東京五輪は銀メダル



レスリング男子グレコローマン60^キ級で金メダルを獲得し、日の丸を掲げる文田健一郎＝6日、パリ(共同)

に終わり、雪辱を期したパリで勝負強さを発揮して待望の頂点に立った。

銅メダルの尾崎は東京都出身。ジュニア時代から高速タックルを持ち味に将来を嘱望され、2018年ユース五輪57^キ級で優勝し、東京五輪後の22年世界選手権62^キ級で世界一になった。62^キ級のパリ五輪代表を逃したが、68^キ級に階級を変更し、代表決定プレトーフを制した。パリでは準々決勝で敗れた後、諦めずに敗者復活戦を勝ち上がった。

